

舵輪

「帆船海王丸の歩みをたどる記念の品々写真展」について

一月二十七日から二月二十五日まで海王丸パーク日本海交流センターで「帆船海王丸の歩みをたどる記念の品々写真展」が行われました。海王丸の貴重な品々や写真が展示されました。この期間に延べ一、二、三名の見学者が訪れ、海王丸の歴史に触れました。展示会に使われた写真やパネルにつきましても海王丸パーク・パーゴラに常時展示しています。展示期間中に見学できなかった方は、是非とも見学して、海王丸の歴史に触れてみて下さい。

「カッター」について

帆船海王丸記念財団にカッター三艇が導入されることになりました。導入時期などはまだ未定です。

「リーダーズキャナーが動く」

船体整備期間中にフォアマスト設置されているリーダーズキャナー（リーダーの回転アンテナ部分です。）が整備され、回転するようにしました。海王丸に來船した時、船橋のリーダーのスイッチを入れてみて下さい。リーダーズキャナーが動きます。（リーダーの電波は発射していません。）

「ペンディングセイル」

三月十日・十一日、帆の取り付け作業「ペンディングセイル」を行う予定でしたが、雪のため中止となりました。しかし、三月十日、あいにくの天気にもかかわらず十七名のボランティアが海王丸を訪れ、セイルの搬出作業を手伝いました。作業日は三月十四日、十五日に変更して行われました。三月十四日は天候に恵まれ、作業は順調に進みました。この日、九名のボランティア参加者の協力を得て、帆の取り付けを終了しました。

三月十五日は、雨天のため作業は中止となりました。参加されたボランティアの皆様、どうもお疲れさまでした。展帆準備はできました。四月二十二日の総帆展帆に向けて、しっかりと体調を整えてお

きましよう。

「海王丸公開開始」

船体整備期間が終わり、海王丸の公開が三月十六日から始まりました。帆の取り付けを終えた海王丸の姿を見に来てください。皆様のお越しをお待ちしています。

「三月十八日ボランティア研修」

三月十八日ボランティア研修が行われました。研修の内容は登しよう礼の配置の決定、動作確認を中心に行いました。参加者は四十四名でした。

特別寄稿

古希を迎えて初詣クルーズ

ボランティア 玉井 文次さん

二十一世紀の今年、古希を迎えるに当たり、区切りの年であったので、この時期に船に乗ってみたいと思いました。

この時、商船三井客船の「ふじ丸」の初詣クルーズの企画があることを知り、申込んで参加することにしました。二十一世紀ということに参加費は二十一％割引でした。

今回申し込んだクルーズは「新春の瀬戸内・南紀初詣クルーズ」で次のようなスケジュールです。

- 第一日目 東京発 航海
- 第二日目 坂出着 バス見学 発 航海
- 第三日目 新宮着 バス見学 発 航海
- 第四日目 東京着 解散

一月八日、雪の影響で電車が遅れ乗船できるかどうか心配でした。東京に二時間遅れて到着、晴海で受付を行い無事に乗船することができました。午前十時出港、レインボーブリッジの下を通り東京を後にしました。

出港の後、オリエンテーションが行われ、船内案内や非常時の対応などの説明を受けました。昼食の後、ゲームやダンスなどの催しがあり、楽しいひとときを過ごしました。

夕食会は船長主催のウエルカムディナーという形で行われました。クルーズの

参加者は、全員着飾って出席し、本格的なフルコースのディナーを会話を交えながら楽しみました。夕食会の後、「江戸時空旅行」というメインショーが行われ、獅子舞や昔懐かしい芸などを楽しみました。ショーの後、カジノゲーム、ナイトシアター、ダンスタイムなどのイベントがありましたが、第一日目は早めに入浴し、休むことにしました。

一月九日、起床の後、七時に行われる「おはよう体操」に参加しました。体操の後には朝食です。明石海峡を歩き交う船や、明石海峡を眺めながらの食事は最高でした。その後、船の催し物があり満喫しました。二日目になると船の雰囲気慣れてしまします。

昼食時に瀬戸大橋を通過しました。その後、第一寄港地の坂出に入港。バス見学を行いました。見学先は、金比羅さんでいろいろなお説話を聞きながら本道参拝し、そこで御利益を願いました。

坂出を離れ、航海に入りました。夕食後はビンゴゲームやカジノなどを楽しみました。夜遅く、珍しく船内放送がありました。内容はスタビライザーの不調と新宮付近の海域が時化のため、入港を取りやめ、代わりに神戸に入港するという案内でした。その日の夜遅く、神戸の沖にふじ丸は仮泊しました。

一月十日、神戸に入港。神戸は自由上陸となりました。生田神社などで初詣を行いました。その後、異人館街を散策の後、帰船しました。神戸に住んでいる友人と会って、船内を案内しながら旧交を暖めました。そんな時間もつかの間、十五時に神戸港を出港しました。午後五時頃、友ケ島を通過。太平洋に出ると、うねりで見受けられましたが、船酔いする方はど行つて軽く汗を流した後、食事を行い、今クルーズ最後の夜の催し物を楽しみました。

一月十一日、東京湾が見えてきました。この時、ブリッジ見学会があり、約二時間ほど見学させてもらいました。富士山は見えず残念でしたが、東京湾の風景を大いに楽しみました。晴海埠頭に無事到着しクルーズは終わりました。

午後二時、乗組員に見送られ、数々の思い出を抱き私は下船しました。

今回のクルーズは久しぶりでした。船旅はいいものです。これからも、年に一度は適当なクルーズがあれば参加して、残りの人生を大いに楽しみたいと思っています。

「舵輪」記事大募集

貴方の海王丸や海に関するお話、読者の皆様に伝えたい情報などありましたら当財団業務課・宝珠山まで連絡をお願いします。

退任の挨拶

四月の異動で、業務課 澤田、寺地両氏が航海訓練所に戻ります。
「せば」

澤田 修士

二年間の短い期間ではありましたが、いろいろとお世話になりました。

舵輪

富山での陸上勤務で良い経験を得られたと思います。航海訓練所に戻りますが、経験を生かした指導を行いたいと思います。どうも有り難うございました。

「さらば、新湊」

寺地 宏貴

私、寺地宏貴は、平成十三年三月付けで帆船海王丸記念財団を去ることになりました。この二年間はあっという間でした。皆様にはいろいろとお世話になりました。本当に有り難うございました。

皆様にご報告できれば良かったのですが、三月三十一日遅くとも四月の前半に、彼女と結婚することとなりました。式は落ち着いてから行う予定です。

四月から、二代目の日本丸に乗船することになりました。これからは、一人ではなく、二人で力を合わせて頑張りたいと思います。未永く見守って下さい。上手に書けませんが皆様に感謝しています。有り難うございました。そしてさらば、新湊。

四^二月^二日^二日^二の^二ボ^ラン^ティ^ア再^訓練^一

「ボランティア再訓練」
平成十三年年度の総帆展帆に向けて再訓練を行います。再訓練の日時及び内容は左記の通りです。再訓練の参加の是非を同封の返信葉書に記入して下さい。

日時 四月七日・八日

午後一時～午後四時三十分

受付場所 日本海交流センター

持ち物

高所作業帽・海王丸作業服
操帆教本（表紙が青の海王丸のテキスト）

いづれの日も、行う内容は同じです。どちらかの日を選んで下さい。

「第二回目登しよう礼訓練」

登しよう礼訓練を四月八日、再訓練の後に行います。参加希望の方は返信葉書に参加の是非を記入をお願いします。登しよう礼参加対象者は、今回は訓練

を二回以上行った方のみとさせて頂きま。まだ配置に余裕がありますので、希望される方は、参加して下さい。後の練習日は五月二十七日（登しよう礼一週間前）に行います。

「ボランティアの集い」

平成十三年度第一回目「ボランティアの集い」は左のとおり行う予定です。皆様の参加をお待ちしています。参加の是非を返信葉書に記入して下さい。

日時 平成十三年四月十五日（日）

受付開始 午後六時
開催時刻 午後六時三十分

場所 ニューオータニ・高岡

TEL 0766-26-1111
(地図参照)

交通 できれば公共の交通機関でお願い致します。

九月 二日
「海のIT」
海の安全な共同利用を目指して
富山商船高等専門学校教授 遠藤 真

イベント内容
代表挨拶
新職員等紹介
イベント
船長挨拶等

会費 無 料

参加される方で会場の皆様に連絡やお話したい方は、返信葉書の空欄に内容を記入して下さい。
皆様のお越しをお待ちしています。

「四月二十二日・総帆展帆」

平成十三年度第一回目の総帆展帆を四月二十二日に行います。今年も白いセイルを広げた「海の貴婦人」の姿を皆様に披露しましょう。参加の是非を返信葉書に記入して下さい。展帆の受付は九時から 展帆打合せは十時から行います。当日、展帆実施の確認は、八時から当財団で電話の対応を行っています。

案内

「平成十三年度の海洋講座について」
今年「海洋講座」は左記の内容のものを予定しています。海洋講座に参加し、海や船について、一つでも多くの知識を身につけて下さい。

五月 五日

「ロープで遊ぶ」
「ロープの止め方、結び方」
海王丸 乗組員

六月 三日

「消防艇の一日」
消防艇「やまと」の性能等
やまと船長 増川 直登

七月 八日

「富山湾の歴史発生メカニズム」
県立富山工業高等学校教諭 木下 正博

八月 五日

「題名未定・・・海の昔話」
神戸深江生活文化資料館 館長

会場 日本海交流センター

時間 十二時三十分～十三時四十五分

講座定員 六十名

申込み 当財団まで申込みをお願いします。申込みは当日まで受け付けます。

受講料（初回）受講料を払えばその後の講座に無料で参加できます。海王丸ボランティアは無料です。

あとがき

三月が終わり四月が始まるうとしています。出会いあれば別れあり、二年間勤めていました澤田、寺地両氏は航海訓練所に戻り、交代で二名が配属されます。平成十三年度は、カッターの導入、通算百回目の総帆展帆と、それに伴う登しよう礼など、企画や行事が数多く行われる年になります。

カッターは海洋教室、海王丸ボランティア訓練としてイベントの活用など、活用方を現在企画しているところです。登しよう礼につきましては、研修に参加したボランティアで、第一回目の配置を決めました。今後、登しよう礼につきましては、年に一回程度行うようにしていきたいと思っています。また今回はシユラウズ配置ですが、来年からはヤード配置の登しよう礼を考えております。海王丸ボランティアの活躍の場が広がります。展帆作業だけでなく、他のイベントにもチャレンジして下さい。

舵輪

海王丸乗組員体験記

「初めての遠航」
業務技師

阿部 公雄

オランダ通信

オランダの甲羅汁

SEICING THE MAIN-BRACE

離れ島訪問

航海中、離れ小島を見ると、降りて探
検したくなる気分になります。普段、耳
にする島でも実際はどんな所か、知らな
い方が多いと思います。このコーナー、
そのような小さな島々へ誘います。小
さな離れ小島への航海を楽しんで下さい。

第一回 南鳥島 (マークス)

第二回 沖の鳥島

第三回 与那国島

第四回 対馬

第五回 硫黄島

第六回 父島・母島 (小笠原諸島)

第七回 西ノ島・そうふ岩

第八回 鳥島・スミス岩

第九回 国後・択捉島
第十回 種子島・屋久島
第十一回 軍艦島 (端島)

K A I W O M A R U